

全国大会名古屋大会に参加して ③

名古屋市笈瀬中

岡村佳和教諭

「仕事と育児の両立にはもっと保育施設を増やすべきだ」「行政に騒音対策や住民への理解を進めてもらうことが先決」。新聞資料を参考に生徒同士が活発に



意見を交わす授業の様子を発表した。記事には記者が取材した人々の切実な声がかっている。その声を読み取ることで、生徒は社会問題をわが身に迫ることとして考えた。

生徒の発言や記述から新聞を活用した授業の手応えを感じた。今後も続けたい。

愛西市八開中

鈴木賢一教諭

生徒の地域への関わりを紹介する「地域おこし特別号」という学校独自の新聞作りについて発表した。実践を通して生徒が地域とつながり、一人一人の世界が広がった。



「活動を通してどのような力が身に付きましたか」という質問に、中学生が「自ら発信する力、他と関わり協働する力」の二点を挙げた。まさに今後の生活でも主体的に、そして仲間と対話しながら学びを深め、困難にくじけず未来を切り開いてほしい。

NIE全国大会名古屋大会で実践発表や公開授業をした先生に感想を寄せてもらった。